

令和4年度

第3回 学校運営協議会～はりはらの会～



3年生 書写授業支援 1学期

家庭科 ミシン授業支援 6月



令和4年9月28日（水） 午後1時10分から

浜松市立曳馬小学校

今年度の計画（予定）

第1回 学校運営協議会 4月28日（木）10時20分～11時30分
熟議

- ①「令和4年度 学校運営の基本方針」について（校長）
- ②「学校支援の在り方」について（影山）
- ③「夢育やらまいか事業」について（教頭）

第2回 学校運営協議会 6月10日（金）10時20分～11時30分
熟議

- ①「学校の支援の在り方」について（会長）

第3回 学校運営協議会 9月28日（水）14時00分～15時30分
熟議

- ①「学校の支援の在り方」について（会長）
- ②「学校の課題」について（影山）

（12月上旬頃 学校運営協議会自己評価アンケート送付 12月末〆切）

第4回 学校運営協議会 2月3日（金）14時10分～15時30分
熟議

- ①「学校関係者評価」について（会長）
- ②「来年度 学校経営方針」について（校長）
- ③「学校運営協議会自己評価」について（会長）

※現時点の予定です。今後、変更になる場合があります。

令和4年度 第3回 学校運営協議会 ～はりはらの会～

1 日時 令和4年9月28日(水) 14時00分～15時30分

2 会場 浜松市立曳馬小学校 多目的室

3 内容

(13時10分～13時40分 参観会の授業参観〈各教室〉)

14時00分～15時30分 学校運営協議会〈多目的室〉

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 熟議

(1)「学校支援の在り方」について(会長)

① 具体的な教育活動と支援

② 成果と課題 今後について

(2)「学校の課題」について(影山)

次回開催(第4回 学校運営委員会 ～はりはらの会～)

2月3日(金) 13時15分～15時30分

学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

| | |
|----|--------|
| 委員 | 鈴木 厚 |
| 委員 | 飯尾 忠弘 |
| 委員 | 川井 啓介 |
| 委員 | 小楠 和子 |
| 委員 | 加藤 美智子 |
| 委員 | 飯尾 智弘 |
| 委員 | 池村 俊典 |
| 委員 | 中田 篤志 |
| 委員 | 丸茂 早織 |
| 委員 | 中津川 涼 |

オブザーバー

| | |
|----------|------|
| 曳馬協働センター | 瀧 尚也 |
|----------|------|

学 校

| | |
|----------|-------|
| 校 長 | 竹内 孝夫 |
| 教 頭 | 花井 清孝 |
| CS担当教職員 | 影山 重広 |
| CSディレクター | 内堀 邦子 |

浜松市教育委員会

| | |
|-------|-------|
| 教育総務課 | 鈴木 陽子 |
|-------|-------|

コミュニティスクール協力依頼

| 学 年 | 実施月 | 教科(領域) | 内 容 | 必要人数 |
|-----|------------|--------|---|-----------------|
| 1 年 | 5~7月 | ○生活科 | 朝顔や野菜の水掛け、草取り | PTA・学校 大和ハウス |
| | 1月 | 生活科 | 昔の遊びを子供たちに教えてもらいたい。 ・けん玉・おはじき・お手玉・あやとり・こ ま・めんこ など | 5~10人 |
| 2 年 | 5~11月 | 生活科 | 町たんけん 校区内の施設や店の案内 | 若干名 |
| | 5~7月 | 生活科 | 野菜の育て方、苗の植え方 | 若干名 |
| | 6月 | 算数科 | 長さ ものさしの読み方 使い方 | 若干名 |
| | 6・7月 | 体育科 | 水泳指導の補助 顔つけ 水慣れ | 若干名 |
| 3 年 | 9月(7月) | ☆総合 | 曳馬地域についてのお話 | CD調整中 |
| | 5~8月 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | PTA・学校 大和ハウス |
| | 通年 | ☆書写 | 片付けの見届け、筆の使い方指導 | 智弘 池村 |
| | 6・7月 | 体育科 | プール指導の補助 | 1~3人 |
| 4 年 | 通年 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | PTA・学校 大和ハウス |
| | 4月 | 音楽 | 「さくらさくら」 琴の演奏 他の和楽器の基 本演奏 | 2人 |
| | 10・11月 | 社会 | のこしたいもの、つたえたいもの 地域に残る建物 芸能 祭りについて 話と建物見学 | 若干名 |
| | 12月 | 書写 | 書き初めの指導 | 4人 |
| 5 年 | 6月下旬 9月 | ☆家庭科 | ミシン(10)調理実習(5) | 智弘 山崎 |
| | 7月 | 体育科 | 水泳 回泳指導・監視 | 1人 |
| | 9月 | ☆総合 | SDGs講師 | 常盤工業 エネジン他 |
| | 9~10月 | 体育科 | 跳び箱 補助(できれば女性の方) | 1人 |
| | 5~8月 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | PTA・学校 大和ハウス |
| 6 年 | 7~9月 | ☆家庭科 | ミシン 上糸下糸のかけ方 ミシンの操作、 調整 | 智弘 山崎 |
| | 通年 | 書写 | 片付けの見届け、筆の使い方指導 | 1~3人 |
| | 6月 | 総合・社会 | 校外学習 グループ活動やチェックポイント | 10人程度 |
| | 2~3月 | ☆家庭科 | ミシン 卒業に向けての取り組みの手伝い | 5人程度 |
| | 5~8月 | ○理科 | 学年園の水掛け、草取り | PTA・学校 大和ハウス |

☆本年度実施予定 ○PTA・他団体・学校等で実施

〇 昨年度より29年度

課題

PTA奉仕への

R4 太和ハウスへの協力依頼 (月予定)

PTA協力

| 実施月 | 対象学年等 | 内 容 | 必要人数 等 |
|------------------------|-------|-----------------------------|--------------|
| 7月 | 理科 | すいすい池の掃除 | 5人 |
| 8月 | 全体 | 花壇・学年園周辺の草取り | 15~20人 |
| 9月 | 低・中学年 | 児童用机いすの高さ調節 | 6~8人 |
| 10月 | 全体 | 西門から体育館前の通路の穴埋め | 5~6人 (男性) |
| 11月27日 (日) ※PTA奉仕作業 | 全体 | アスレチックマウンテン等の整備 (土嚢積み) | 5~10人 (男性) |
| 12月 | 全体 | 校舎・給食室周りの側溝の掃除 | 10人 |
| 1月 | 低・中学年 | 児童用机いすの高さ調節 | 6~8人 |
| 2月 | 全体 | 運動場・遊具・花壇・学年園周辺の落ち葉拾い・草取り | 15~20人 |
| 3月 | 保健 | カーテンの取外し (1回) | 6~8人 (背の高い方) |
| 3月 | 保健 | カーテンの修繕 (ほつれを縫う) ※ひくまのホール含む | 3人 |
| 3月 | 保健 | カーテンの取付け (1回) | 6~8人 (背の高い方) |



令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果概要報告

まだまだ残暑が厳しい日が続いていますが、2学期に入り、学習も運動も最も充実する時期となりました。子供たちは、各自目標を掲げながら活力に満ちた学校生活を送っています。

さて、このほど6年生が4月に行った全国学力・学習状況調査の結果が届きました。本年度は、3年に1回の理科についても、実施しました。本校では、調査の結果の概要をまとめましたので、お知らせします。

1 国語科【知識・活用】

【状況分析と考察】

◎ 本校の平均正答率は、全国、静岡県の前平均正答率を大きく上回りました。国語科における基礎・基本の力は、身に付いている結果となりました。

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が高い設問

- ・ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに考える。(＋15%)
- ・ 互いの立場や意図を明確にしなが、自分の考えをまとめる。(＋12%)
- ・ 漢字を正しく書き表す。 ろくが (＋10%)

2 算数科【知識・活用】

【状況分析と考察】

◎ 本校の平均正答率は、全国・静岡県の前平均正答率を上回りました。算数科における基礎・基本力は、国語科と同様に概ね身に付いている結果となりました。

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が高い設問

- ・ 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え、考えることができる。(＋10%)
- ・ 正三角形の意味や性質をもとに、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考え、書くことができる。(＋7%)

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が低い設問

- ・ 示された作図の手順をもとに、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを考えることができる。(－8%)

3 理科【知識・活用】

【状況分析と考察】

◎ 本校の平均正答率は、全国、静岡県の平均正答率を大きく上回りました。理科における基礎・基本の力は、着実に身に付いている結果となりました。

特に全国・静岡県に比べて平均正答率が高い設問

- ・ 観察結果を、結果からしっかりと考え、自分の考えをもつことができる。(＋11%)
- ・ 水が、水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。(＋11%)
- ・ 予想から結果を見通し、問題を解決するための道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。(＋10%)

4 質問紙への回答の結果から

○特に良い表れの質問

- ・ 自分によいところがありますか。
- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・ 将来の夢や希望をもっていますか。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思っていますか。
- ・ 学習の中でPC・タブレットなどのICTを使うのは勉強の役に立つと思いますか。
- ・ 国語・算数・理科の学習は、将来に役に立つと思いますか。



など

△改善が必要とされる質問

- ・ 授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ってききましたか。
- ・ あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級全体で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ・ 授業では、ICTを活用していましたか。
- ・ 家庭では、PC・タブレット等を使って学習をしていますか。
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

など

「自分によいところがある」「将来の夢や希望をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」等、本校の重点である自己肯定感が高い子供たちが多いと考えられます。また、国語・算数・理科と調査したすべての教科の学習が、将来に役に立つと考える子供たちが多く、将来を見据えたキャリア教育の視点からも、とてもよい結果となりました。

いっぽう、学級での話し合いがやや不足していたり、ICTの活用が考えていたより十分にできていなかったりすることも分かりました。職員全体でICTの活用の仕方について、共通理解を図り、充実していきます。また、コロナ禍ということもあり、地域の行事にあまり参加できていない実態も把握できました。

令和4年6月8日

保護者 様

浜松市立曳馬小学校
校長 竹内 孝夫

教育の質の向上に向けた取組への理解と協力について

～子供も先生も元気で笑顔あふれる学校づくりに向けて～

日頃から本校の教育に対し、御理解と御協力をしていただき、心より感謝申し上げます。

さて、浜松市教育委員会の指針を受けて、曳馬小学校では、家庭や地域の宝である子供たちの健全やかな成長に向けて教育の質の向上を図るため、「学校における働き方改革」を進めています。

その一環として、教職員一人一人のワーク・ライフ・バランスの充実や、教職員が心身共に健康的に教育活動に従事できる環境づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、子供も先生も元気で笑顔あふれる学校づくりに向けて、今後とも御理解と御協力をくださいますようお願いいたします。

文部科学省が2016年に実施した勤務実態調査によると、1か月に80時間以上に相当する時間外勤務を行っている教師が、小学校で約3割、中学校で約6割に上るといった長時間勤務の実態が明らかとなりました。



公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン【文部科学省】

上限の目安時間

- ① 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が、45時間を超えないようにすること。(学校の勤務時間8:00～16:30(休憩45分間を含む))
⇒この条件に当てはめると、勤務の時間は、最大でも、7:30～18:00の勤務時間となります。
- ② 1年間の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が、360時間を超えないようにすること。(1か月換算すると、約33時間平均が上限)

(詳細) 政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201904/2.html>



文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が、「学校の働き方改革」を推進するための総合的な方策を示した答申より

答申では、教師が授業などの本来の業務に専念できるようにするため、これまで学校・教師が担ってきた14の業務を仕分けし、優先順位をつけて減らしたりすることを提案しています。

裏面に続く

【学校以外で担うべき業務】

- (1) 登下校に関する対応
- (2) 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応
- (3) 学校徴収金の徴収・管理
- (4) 地域ボランティアとの連絡調整

これらについては、基本的に「学校以外が担うべき業務」で、業務内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者や地域ボランティアなどが担うべきとされています。

【必ずしも教師が担う必要のない業務】

- (5) 調査・統計等への回答等
- (6) 児童生徒の休み時間における対応
- (7) 校内清掃
- (8) 部活動

これらについては、学校の業務となりますが、必ずしも教師が担わなければならない業務ではありません。教師以外の担い手として、事務職員や地域ボランティア等の活用が挙げられています。

【教師の業務であるが、教師の負担軽減が可能な業務】

- (9) 給食時の対応
- (10) 授業準備
- (11) 学習評価や成績処理
- (12) 学校行事の準備・運営
- (13) 進路指導
- (14) 支援が必要な児童生徒・家庭への対応

これらについては、基本的に学校・教師の業務であるとし、その上で、それぞれの業務について、サポートスタッフ、事務職員や民間委託の外部人材等との業務分担により対応を図るべきとされています。

これまで学校の伝統として行ってきたものであっても、子供たちの学びや健全な発達の観点からは必ずしも適切とはいえないもの、本来は家庭や地域が担うべきもの（※）などは、大胆に削減することが重要としています。

※例えば ・運動会などの過剰な準備 ・休日の地域行事への参加の取りまとめや引率 等

つまり、学校だけでなく、地域や家庭などを含め、地域全体で子供たちを育む体制を整備することが重要です。そのためには、社会全体の理解・協力が不可欠です。これらの考え方を受け、曳馬小学校でも、少しずつ『曳馬小 働き方改革』を進めてまいります。



担当 浜松市立曳馬小学校 花井・影山
電話 471-4201

令和3年度 浜松市立曳馬小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察

別紙（学校便り）のとおり

2 学校関係者評価

2月4日（金）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは、以下の意見があった。

自己評価結果及び考察

別紙（曳馬小 学校運営協議会 自己評価表）のとおり

本年度の「学校への協力」取り組みについて

- ・3年生の総合的な学習の時間「曳馬地域についてのお話」はCSとしてよい機会
- ・6年生が2～3月に行うミシンでの卒業制作の取り組みについても地域の協力を仰ぎたい。
- ・これからのことは運営協議会でいろいろ意見を出し合って、実現できるところから、着手していけたらと思う。
- ・要望が具体的にまとまったので、これを念頭に検討していきたい。自治会、民生委員、PTAなどを通じて協力してくれる人を紹介してもらい、実現していきたい。
- ・協力依頼のリストの要望内容は、現在行っていることなのか、これから実現させたいことなのか確認したい。
- ・現在3年生「曳馬地域についてのお話」は毎年自治会に回覧を依頼して実現させている。
- ・町探検等は現在職員だけで行っているが、今後は協力をお願いしたい。
- ・リストの要望内容は毎年必ず行っていることではなく、各学年の先生の教育方針で保護者に協力を依頼して実現することもある。毎年同じ内容・形式で行っているわけではない。
- ・各学年の先生の教育方針で急になくなることも考えられる行事だが「曳馬地域についてのお話」のように地域と学校が一体となって行うことにより伝統として続けていけることは学校としてはとてもありがたい。
- ・今回のリストは、現在行っていることとこれから実現していきたいものが混在して

いる。これから整理していきたい。次年度に向けて、個別での情報でも、学校やコーディネーターに挙げ、より充実したものにしていく。

- ・コーディネーターが窓口になり、学校と共に情報をまとめ、みんなで情報を共有したい。学校の先生の異動があっても情報が途切れないようにしておく。

- ・いろいろな人の情報を挙げてもらい、協働センターや上島小学校の人たちとも協力して実現できればと考える。

- ・情報の一元化ができれば素晴らしい。読み聞かせボランティア、協働センターの花の会、民生委員など既存の組織から情報を得てはどうか？役に立ちたいと思っている人の協力を仰ぐ。住んでいる町、専門性、特性、属性などを整理してリストを作成していくとよい。

- ・熟議するためには、話し合いの時間が1時間以上必要。そのためには、行事とセットの協議会であっても、話し合いの時間を1時間は確保して組んで欲しい。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・「あいさつ」の課題については、子供たちとの関係性が薄いと、なかなか挨拶をしにくい実態があるので、関係を築くために、まずは、学校にゲストティチャーがきた時には、「あいさつ係」を決めて挨拶をし、挨拶の大切さを紹介する。また、委員会を中心にあいさつの大切さを呼び掛ける「あいさつ運動」を引き続き行ったり、動画ビデオを作成したりして、あいさつの大切さを伝えていく。さらに、朝の登校のときに、挨拶ができているか、PTAや地域の方に「登校班ごとにあいさつについて評価」していただく機会を設ける。

- ・家庭学習については、各学年の家庭学習についての実態をつかむとともに、子供たちの実態に合った家庭学習の仕方を考えていく。よい家庭学習を行っている子のノートやワークシート等をコピーし、校内の廊下や階段等に掲示して紹介する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から「学校経営構想」をベースに丁寧でわかりやすい説明があり、十分熟議できた。
特に学校運営の基本方針である「令和3年度学校経営構想」の資料(A4)は非常にわかりやすくまとめられて理解しやすいものだった。
- 学校運営の基本方針の説明は理解したが、委員全員(学校の委員を含む)が前年度評議委員会の延長の雰囲気ですら熟議までには至らなかった。
- 「学校経営構想」をもとに、校長さんから丁寧な説明があり、よく理解できた。熟議というより、どちらかと言えば承認・確認と感じた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校側からコミュニティスクール協力依頼を出していただいたので、運営委員としては協力しやすくなった。→行った場合、結果を教えてほしい。→次のステップを考えることができるのではないか。コロナの関係で子供の様子が見られなかったことが残念でした。コロナ感染予防対策のため十分に熟議できなかったのは第3回の協議会でコミュニティスクールのことが自分なりに理解できたので、今年度以上に熟議することができると思う。
- 地域を知るための児童の活動について、地域の方からの意見があり、学校の引き継ぎについて熟議できた。また、授業の中で支援が必要な機会を確認できた。
- PTA活動で奉仕活動へのたくさんの参加状況や素晴らしい動きのことなど具体的な活動のようすに感動した。目指す子供の姿、身につけたい資質・能力などのビジョンに共有した育てたい姿が見えたと思えた。
学校行事の学校の取り組みも素晴らしいことが実際に見せていただけることで体感できてとてもよかった。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 各委員が学校への理解を深め、学校運営協議会の熟議の進行にも馴染んできた。来年度は委員全員で課題改善に向け積極的に熟議を進めていきたい。
- 教育活動におけるコミュニティスクールの支援にあたり、上記熟議を踏まえ、まずはこれまでの経緯や既存組織を含めた支援者のリストアップ(人材バンク的なもの)を行うとともに、学校側の優先度・必要レベル等の仕分けを行う。そして、やれるものから進めていく。一気に整備して、どこかに無理ができることがないようにする。
- 学校運営に資する活動について、実践をふまえながら、更に熟議していきたい。
- コミュニティスクール協力依頼のリストアップされたものが、学校側から、具体的に内容もわかりやすくまとめられているので、そのことの具体的な協議をしていく。
学校支援コーディネーターと委員たちが地域人材の発掘など具体的に支援の有り方とともに熟議していきたいと思っています。
学校の課題を把握するためには子供たちの姿に接する時間も十分にほしいのと会議の時間ももう少し長くとれたらと思います。
- 学校に足を運ぶ機会をつくる努力をし、学校運営協議会委員としての責任を果たしたい。

